

ビジネスアイデアの概要

長寿命化が進むペットの犬猫。(2010年→2023年/犬は5%、猫は10%延伸)
一方で高齢化による疾患リスクが増加し、ペットと飼い主両方にとって負担が大きいものになっている。ひいてはペットの遺棄という問題を引き起こす。

本当に家族である犬猫にとって最適なヘルスケアができていないか。それを検査するために免疫年齢測定をカルシウムシグナルで実現する。あわせて検査の際には未病のリスクを発見。さらに将来的にはビッグデータとの連携を模索する。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

【技術シーズ：カルシウムシグナル】
細胞内のカルシウムイオンの濃度などの変化で、情報を伝達するメッセンジャー機能を持つ。
血中の免疫細胞が活性化すると濃度が上昇するため、これを可視化し、測定に活用する

▼事業化に向けた課題

- (1) ユーザー（ヒト・動物）での実証実績の積み上げ
- (2) 採血へのユーザーの抵抗感/予防に対するニーズ不足を克服する市場選定
- (3) 測定項目の確定/測定機器のプロトタイプ開発

事業化の見通し

現在の段階：カルシウムシグナル測定の前処理方法の開発
基礎研究段階ではカルシウムシグナルをマウスの生体イメージングにより観察していた。カルシウムシグナルをヒトやペットの血液で測定するための前処理方法を確立する。

あわせて、カルシウムシグナルの画像解析方法の確立、人やペットでの概念実証が必要。
また技術が活かせる市場の探索と決定を、市場調査、顧客ヒアリングを通じて、我々の技術が最もfitするニーズを見出す。そのうえでMVP開発と価値検証を行うところまで目指したい。

事業者情報

FR:武田 惇宏



<チームメンバー>

- 安達貴弘 (技術シーズ：東京科学大准教授)
- 小笠原夕帆
- 中村浩之

ビジネスアイデア概要図等

微量採血から
カルシウムシグナルを測定し
ペットの免疫年齢測定と
未病リスクを発見することで
最適なヘルスケアを検討する
情報を提示する

免疫の活性化状況を
スコア化して回答

